

授 業 科 目 名	算数科教育法Ⅲ	教 員 名	渡 邊 耕 二	免 許 ・ 資 格 と の 関 係	小学校教諭	選択必修
					幼稚園教諭	
授 業 形 態	演 習	担 当 形 態	単 独	卒 業 要 件	保育士	
科 目 番 号	SID309	配 当 年 次	3 年 後 期		こども音楽療育士	
単 位 数	2 単 位			小 幼 コー ス	選 択 必 修	
科 目	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）（小学校）					
施 行 規 則 に 定 め る 科 目 区 分 又 は 事 項 等	・各教科の指導法					
科 目						
系 列						
到 達 目 標	授業研究に含まれる教材研究（Plan）、研究授業（Do）、授業検討会（See）、授業改善（Action）の4つの一連の流れを理解し、実際に指導案を作成し、研究授業を行い、授業検討会を通じて授業改善を試みる。それに向けて、他の教師の授業を分析する視点の構築と、授業の目的に応じた教材研究と指導案を作成することを目指す。					
授 業 の 概 要	授業研究には、教材研究（Plan）、研究授業（Do）、授業検討会（See）、授業改善（Action）という4つの一連の流れがある。まず実際の授業の視聴を通じて、教師の立場から授業を分析し、授業と指導案の関係を理解する。次に授業作りに向けて、授業の目的と授業展開のつながり、板書や発問などの授業技術と学習形態について理解する。続いて授業を作る単元を選択し、その教材研究を通じて指導案を作成する。そしてその指導案を用いて研究授業を行い、授業検討会を通じて指導案を再考し、授業改善に繋げ、再度研究授業を実施する。最後にその効果の検討を通じて、授業研究の4つの流れの意義と役割りを体感する。授業形態は、演習とする。アクティブラーニングとして振り返り、レポート等を取り入れる。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている。」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 計 画	第1回：授業研究について 授業研究の意義と一連の流れについて解説する。 第2回：授業参観1（授業の視聴と分析） ビデオ視聴を通じて授業を分析する。 第3回：授業参観2（授業と指導案の関係性） ビデオ視聴を通じて授業と指導案の関係性を分析する。 第4回：授業作り1（授業の目的と授業展開） 指導案を通じて、授業の目標とその達成に向けた授業展開を検討する。 第5回：授業作り2（板書・発問・机間支援） ビデオ視聴を通じて、板書計画と発問の仕方および机間支援の意義と方法を検討する。 第6回：授業作り3（学習形態） 協働学習と算数的活動を用いた実践例から学習形態を理解する。 第7回：学習指導案作成1（単元選択と目的の設定） 単元選択から教材研究を行い、授業の目的を設定する。 第8回：学習指導案作成2（授業展開と学習形態） 授業の目的に応じた授業展開を作成し、学習形態を決定する。 第9回：研究授業と授業検討会1（導入部分） 授業の導入部分に絞って研究授業を行い、授業検討会を実施する。 第10回：研究授業と授業検討会2（展開部分） 授業の展開部分に絞って研究授業を行い、授業検討会を実施する。 第11回：授業改善（指導案の再考）					

	<p>第9回と第10回の授業検討会をもとに、指導案を再考する。</p> <p>第12回：研究授業と授業検討会3（導入部分） 授業の導入部分に絞って研究授業を行い、授業検討会を実施する。</p> <p>第13回：研究授業と授業検討会4（展開部分） 授業の展開部分に絞って研究授業を行い、授業検討会を実施する。</p> <p>第14回：授業改善の効果 児童の視点に立ち、授業改善の前後の違いを把握し、その効果を検討する。</p> <p>第15回：授業研究のまとめ 授業研究の4つの流れを確認し、それぞれの意義と機能を整理する。</p> <p>期末試験：試験期間中に実施する。</p>
学生に対する評価	<p>期末試験（40%）、レポート（30%）、発表の内容（30%）を総合して評価する。</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
授業外学習について	<p>（事前・事後学習として週4時間以上行うこと。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の内容について、事前学習のために教材資料をわたすので、しっかりと目を通し、不明な点等をあらかじめ調べておくこと。 ・事後学習について、毎回の授業後に、内容について自分の言葉でまとめ、他者に説明できるようにする。 ・その他、毎週土日に必ず振り返りを行うこと。
テキスト	必要に応じてプリントを配布する。
参考書・参考資料等	<p>『小学校学習指導要領（平成29年告示）』</p> <p>『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 算数編』</p> <p>『算数・数学授業研究』 清水・磯田・大久保・馬場監修（明治図書）</p> <p>『算数授業研究』筑波大学附属小学校算数研究部（東洋館出版社）など、その他授業の中で適宜紹介する。</p>
担当者からのメッセージ	授業の質を高めるために、授業研究は不可欠なものです。算数Ⅰ・Ⅱ、算数科教育法Ⅰで学修したことをきちんと復習し、実践力を身に高められるように、授業に積極的に望んでください。
オフィスアワー	毎週金曜日 9:00～12:00